

子育ての楽しさも悩みも分かち合える

子育て支援活動



核家族化が進み、地域のつながりが希薄化しているといわれる現代、子育てに不安感・負担感を持つ親が増えているよ。子育て中の親が子どもと一緒に気軽に集える場をつくって、仲間づくりを通して悩みを解決したり情報交換したりできるように、子育て支援活動を行っている事例を紹介するよ。

事例 7

だいたいうちくこそだ 大東地区子育てサロン活動(大東地区民生委員・児童委員協議会)



大東公民館での様子。おもちゃをいっぱい広げ、子どもたちはのびのびと遊んでいます(写真上)。ボールプールは特に人気(写真右)。



■設立

大東地区で、従来から公民館事業として実施されていた、子育てサロン活動。担当する託児ボランティアの人手不足から、存続が危ぶまれていました。

そんな中、平成15年、大東地区民生委員・児童委員協議会では「子育て環境の整備、児童委員活動の推進」の観点から、子育てサロン活動を重点活動とし、民生委員・児童委員が公民館事業の子育てサロン活動に協力することになりました。

■活動内容

4才までの乳幼児を対象に、第2・第4水曜日は大東公民館、第3・第4木曜日は大東南公民館で、子育てサロンを実施しています。毎回15~20組ほどの親子が参加。ボランティアや民

生委員・児童委員とそのOBが、乳幼児と一緒におもちゃで遊んだり、手遊びやゲーム・お話などを行ったりしています。

参加していた母親からは、「子ども(現在2才)が3か月ぐらいのときから、この子育てサロンに来ています。広い所でのびのびと遊べる場所がいいですね」、「子どもと家で2人きりだと、どうしても息が詰まってしまうときがあります。サロンに来ると、ほかのお母さんたちとお話してきて、息抜きになります。ここで友達になったお母さんもたくさんいます」との声が聞かれます。

代表の大金さんは、「同じ世代の乳幼児と母親たちが一緒になることで、子育ての悩みを相談したり、同じ環境の人たち



子育てサロンは、母親たちの情報交換の場でもあります。

と友達になったりしてもらえたら」と話します。また「民生委員さんや児童委員さんには、上の子の時からお世話になっています」という母親も。人生経験が豊富な民生委員・児童委員は、良き相談相手となっているようです。



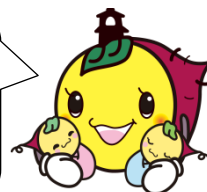
子育ての悩みや楽しさを分かち合える場所・子育てサロン。地域で子育てする親を応援しています。

大東地区
民生委員・児童委員協議会

●代表者
おおがね しょうじ
大金 正司

●連絡先
Tel : 242-6490
Fax : 同上

子育てサロンは、母親だけでなく、子どもたちにとっても、異年齢の交流ができて集団環境に慣れることができる、いろいろな遊びを通して好奇心や主体性を育むことができるなどのメリットがあるよ。



事例 8

こそだ きょうしつ かわつる ち くしゃかいふくしきょうぎかい 子育てサロン「にこにこ子育て教室」(川鶴地区社会福祉協議会)

■設立

川鶴公民館が主催していた子育てサロン「にこにこ子育て教室」。平成 15 年から、主任児童委員 2 名が手伝えることになりました。

参加していた母親や赤ちゃんとのふれあいを通して得た「自分たちにも何かできることがある」という感触。また「こんな会があったらいいな」という声もあり、「子育て中の親を支援し、幼児の健やかな成長を願う」ことを目的として、平成 16 年度から川鶴地区社会福祉協議会が全面的に支援することになりました。

■活動内容

乳幼児を対象に、月 1 回、川鶴公民館で開催しています。まず、保健推進員が乳幼児の身長・体重測定を実施。そのあとは、主任児童委員を中心に毎回テーマを決めて進めます。基本的生活習慣



母子手帳で子どもの成長を確認

にも親たちの交流の場



・食事の大切さを指導するため、乳幼児の食事とおやつ作りをしたり、初めての子育てに対する不安や悩みを解決するため、新米お母さんたちの情報交換会を行ったりしています。「どんどん大きくなる子どもたちの成長を見



乳児体操で親子のスキンシップ



子どもたちが大好きな、絵本の読み聞かせ

るのが楽しみです」と代表の市川さん。

おもちゃは、乳幼児が口に入れても安心な素材で作られた物を購入。子どもたちは伸び伸びと元気に遊び、創造性を育てています。

また、ひな祭りやクリスマス会など、季節ごとの行事を取り入れたイベントも実施します。「一緒にふれあい楽しむことで、親子の愛着を深めてもらえれば」と市川さん。

参加した母親の中には、「自分が経験したことを活かしたい」と、次のステップである幼児教室のスタッフとして参加したり、グループで地域のさまざまなイベントに参加したりする方が増えています。

子育てサロンを通して、地域で子育てを支援しよう、地域を活性化しようという輪が広がっています。

川鶴地区社会福祉協議会

- 代表者
いしかわ しみず
市川 富美子
- 連絡先
TEL : 231-9873
Fax : 同上

“福祉”について知ってみよう ④

◆民生委員・児童委員って、どんな人たちのの？

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣の委嘱を受けて、それぞれの地域で高齢者の相談や見守り、児童虐待の防止・早期発見など、地域の福祉活動における中心的な役割を果たしているボランティアだよ。いわば「住民の立場に立った相談・支援者」だね。地区ごとに民生委員・児童委員協議会(民児協)を組織しているよ。

川越市には、22 地区で 472 人(平成 24 年 3 月 1 日現在)の民生委員・児童委員がいるんだ。民生委員・児童委員には、守秘義務が課せられているから、安心して困りごとや悩みごとなどを相談することができるんだよ。

